

「ちばプロボノチャレンジ2019～2021」 の振り返りと今後に向けて

目次

ちばプロボノチャレンジ事業概要	P3～P7
各年度の参加団体とプロボノ活動内容	P8～P12
参加団体のプロボノ後についてのアンケート回答まとめ	P13～P24
参加団体へのプロボノ後アンケートから見えてきたこと	P25～P26
ちばプロボノの今後について	P27～P31

「ちばプロボノチャレンジ2019~2021」 事業概要と活動内容

「プロボノ」とは？

仕事で得た知識や経験、専門性を活かしたボランティア活動

「ちばプロボノチャレンジ」は プロジェクト型プロボノです

「運営上の困りごとを解決したい地域活動団体」と「社会人ボランティア」を事務局がつなぎ、ひとつのチームとなり、団体運営上の課題解決にあたるプロジェクト型で行うプロボノです。支援内容と期間を絞って、短期集中で行います。

～プロジェクト型プロボノとは～

チームで支援！
得意分野のスキルや経験を活かした支援

約3カ月間！
短期集中で取り組み、成果物を作成します

サポートします！
事務局が両者をサポート

団体内にはない視点やスキルの提供を受けられる

経験が活かせる充実感やチーム作業でのおもしろさを感じられるボランティア

忙しい社会人や団体も、参加しやすい

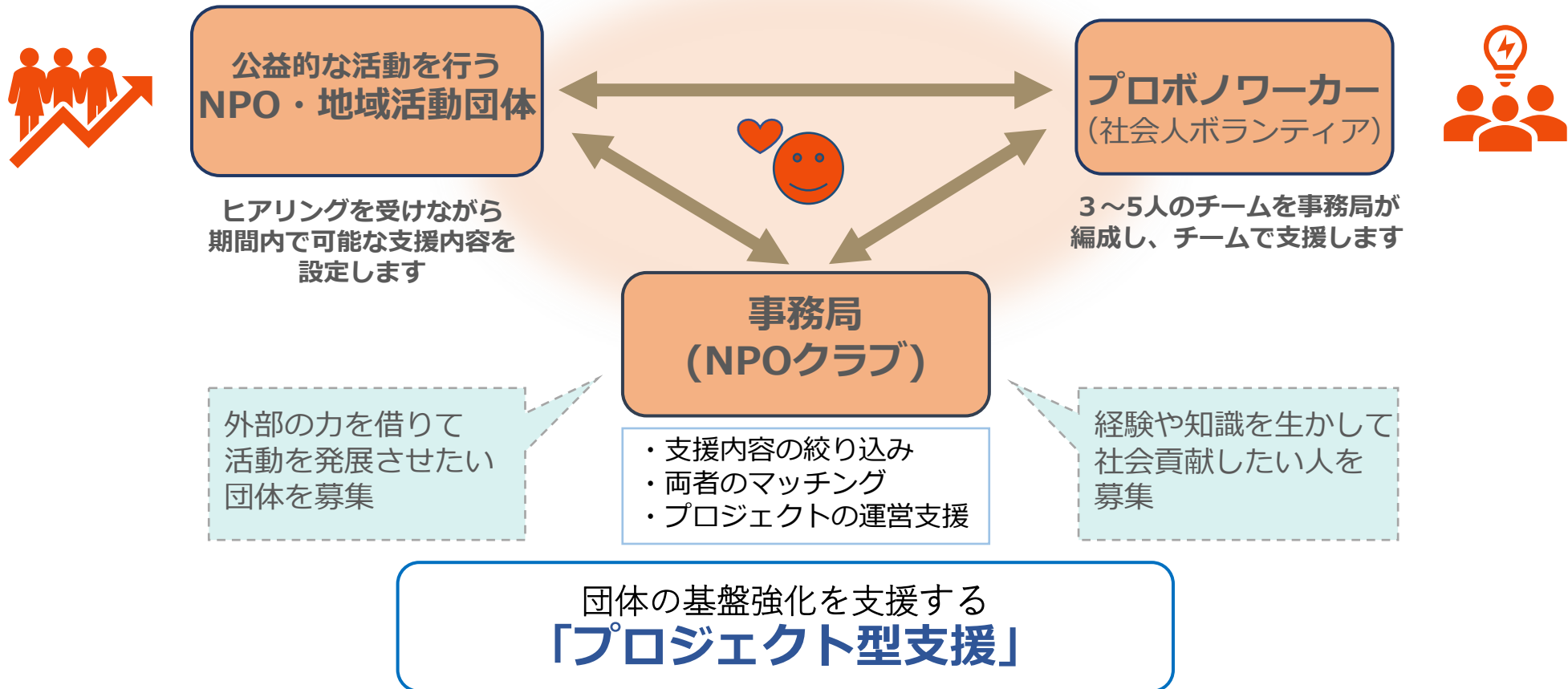
プロボノが初めてでも、活用しやすい

「プロボノ」の語源はラテン語の Pro Bono Publico (公共善のために) という言葉です。

Pro	Bono	Publico
For	Good	Public
↓	↓	↓
～のために	善・よいこと	公共的な



「ちばプロボノプロジェクト」では、 3者がそれぞれチカラを発揮して成立します



▼プロボノ活用例▼

運営を改善・強化したい！

運営マニュアル作成（手順書）

メンバーがもつノウハウを「明文化」し、初参加者でも手伝える体制づくりを応援します。

作業効率化の提案

作業内容の棚卸・整理を行い「見える化」することで、効率化するための提案を行います。

会計業務改善提案

経費精算書や各種台帳、関係書類の見直しと改善提案を行います。

参加の輪を広げたい！

オンライン環境の整備

「With」コロナの対応に！

オンライン会議や講座ができるような環境づくりのための提案や導入時の支援を行います。

チラシ案、HP制作支援

「With」コロナの対応に！

伝えたい人たちへ、イベントや諸活動への参加を訴える効果的なチラシ、HP制作を行います。

資金調達を強化したい！

営業資料の作成

「With」コロナの対応に！

企業との連携・協働の実現に向けて、団体のプレゼン資料の作成または改善・更新を行います。

資金調達案の提案、寄付管理

寄付管理の効率化検討、および、必要な「ツール」の構築を支援します。

活動の刷新や見直しをしたい！

アンケート活用

「With」コロナの対応に！

受益者のニーズや要望、または、団体の活動の意義や価値について数値化して把握します。

ニーズ調査

活動やイベント等の利用者・支援者等への調査を通して、効果的な改善方法等を整理・提案します。

課題整理ワークショップ

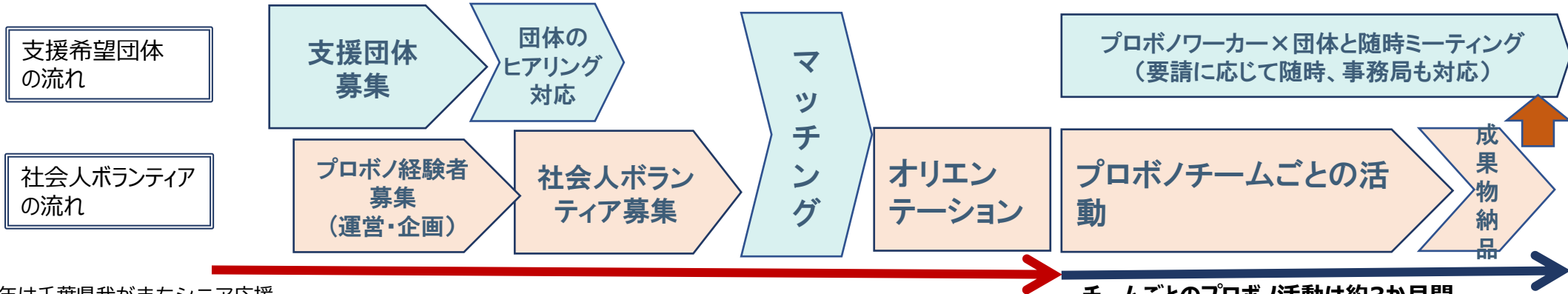
「With」コロナの対応に！

団体の課題を棚卸・整理し、団体の在り方や課題解決の方向性を一緒に検討します。

事業実施の流れ（概略）について

Withコロナ後は
オンライン開催

- 団体向け説明会の開催 → 参加希望団体のエントリー
- 社会人ボランティア向け説明会開催 → プロボノワーカーとしてエントリー



2019年は千葉県我がまちシニア応援プロジェクト事業として全期間受託実施

本事業として実施

（2020、2021年は千葉県ボランティア参加促進事業として受託実施）



自主事業で実施

（2020、2021年はNPOクラブ自主事業として実施）



「ちばプロボノチャレンジ2019~2021」 各年度の参加団体とプロボノ活動内容

3事業年度で、
のべ20団体と
のべ64人のプロボノワーカー
が参加しました

<2019年度のプロボノ活用事例> 5つの高齢者支援を行う地域福祉団体と、プロボノワーカー16名で実施しました

	団体名	所在地	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
1	一般社団法人 セカンドライフ ファクトリー	柏市	多様な能力、趣味を通じた市民ネットワークを構築し、就労・ボランティア等シニアの社会参加をすすめる活動	組織運営上の 課題整理と提案	関連各団体のヒアリング、事務局会議や実施講座の傍聴など現場の声や情報を拾ったうえで、過去3年の財務分析に加え、SWOT分析により現状の分析資料を作成。あわせて今後の組織運営の方向性への提言資料の作成。
2	特定非営利活動法人 船橋ウォーキング・ ソサイエティ	船橋市	ウォーキングでの健康増進、維持を実践し、仲間づくりを行う活動。同時に、ウォーキング指導資格者の講師派遣も行い、会員の育成など、会への参加による「社会参加と生きがいづくり」もすすめる活動	Web上の情報 発信支援	更新が滞りがちだったWeb上の発信方法を検討したうえで、届けたい情報と対象などを整理。新しいホームページとブログを作成し、団体側と協力しながら作業を進めました。今後、維持管理できるような体制づくりを含めた提案資料の作成
3	特定非営利活動法人 千葉西地域包括 多職種の会	千葉市 花見川区	生活援助・終活支援、未病改善支援・健康の維持増進の普及啓発、社会参加支援に関する事業を行うとともに、医療・介護等に携わる人々に対し、専門知識のスキルアップ及び多職種の連携推進に関する活動	課題整理と事業 運営上の提案	団体へのヒアリング、事務局会議実施講座の傍聴から現状分析を行い、活動目的に沿った運営を行うために、団体の3年計画を立てるワークショップを実施。現状の課題を整理し、今後の事業運営の方向性への提案資料を作成。
4	御成台三丁目自治会 支え合いの会 虹	千葉市 若葉区	自主的に集まった自治会会員、民生委員を中心に、見守り活動、生活支援（ごみ捨て、草取り、庭木の剪定など）を行うほか、自治会のサポート、体操、カフェ、イベントなどを行い、体力向上や地域での繋がり作りの機会を提供する活動	活動活性化のため の提案と広報 支援	活動を広く知ってもらい、担い手を増やすため、集会所カフェの周知のためのチラシ案を作成。現状分析・提案資料とあわせて、今後のターゲットとなる層に訴えかけられるようなホームページ作成、運用方法資料の作成
5	特定非営利活動法人 サポートセンター花千	香取市	介護保険対象外の日常生活サポートや福祉有償運行のほか、地域住民の交流の場の提供、イベント開催を行い、高齢者や障がい者が自分らしい豊かな生活を地域で送れるようサポートする活動	団体リーフレットの 作成と配布方法 の提案	活動を地域に周知し、会員獲得につなげるため、リーフレット案を作成。あわせて連携機関とのワークショップの実施と会員属性の分析に基づいた広報物の配布方法の提案資料の作成

<2020年度のプロボノ活用事例> 5団体とプロボノワーカー28名で実施しました

	団体名	所在地	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
1	NPO法人 お産子育て向上委員会	千葉市中央区	産前産後のケアや助産院の運営などを行い、子どもを産み育てやすい環境作りをする活動	リーフレットの作成支援	出産対象年齢の世代に伝わる産前産後ケアの紹介リーフレットの作成と情報発信の提案
2	NPO法人 災害ボランティア団体らしんばん	佐倉市	国内における災害復興支援作業、及び支援従事者の支援を目的として活動	資金調達の方策検討の支援	会員増員のための資料作成と募集のための諸方策の提案
3	NPO法人 消費者市民サポートちば	千葉市中央区	安全で安心な暮らしのために消費者被害を防止し、一人一人が自立した消費生活を送れるような社会をめざす活動	法人向けの説明資料の作成支援	団体賛助会員の加入促進のためのパワーポイント資料作成とそれを使った広報戦略の提案
4	助産宿	市川市	女性と赤ちゃん、その家族を尊重した出産・産前産後のサポートをする活動	事業計画作成の支援と提案	団体立ち上げ期の設立要件の確認と事業計画立案の支援
5	NPO法人 世界のともだち、ホームスタート・しゅっぽっぽ	船橋市	未就学児の子どもをもつ家庭を訪問し、寄り添うホームスタートなど船橋での子育て支援活動	情報発信支援	家庭訪問するボランティアを募集するリーフレット作成と効果的な SNS の発信方法の提案

<2020年度のプロボノ活用事例 続き>

	団体名	所在地	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
6	NPO法人 ダイバーシティ工房	市川市	「制度の狭間で孤立しやすい人たち」に対し、0歳～20歳までの切れ目ない支援をする活動	広報資料の作成支援	法人への寄付を募る説明資料の作成と効果的な発信方法の提案
7	NPO法人 ほっとすパーす・つき	佐倉市	地域の居場所づくりや地域力の向上に取り組む活動	ワークショップ開催支援	理念、ビジョン、ミッションを整理するワークショップの開催
8	NPO法人 BeCOM	銚子市	地域に貢献できる人材の育成、地域に活力をもたらす事業の創造と実践を目的に活動	ホームページ作成支援	スマホページ対応ができ、法人の魅力をより伝えるホームページの作成
9	千葉県こどものまちCBT実行委員会	千葉市中央区	まちづくり・職業体験イベント「こどものまち」を実施する活動	イベントのオンライン化検討の支援	イベントなどのオンライン化を考えるにあたっての勉強会の設定
10	ちえの和「ほほえみ」	茂原市	片付けとお金の相談ができる コミュニティサロンの開催	オンラインの情報発信支援	団体立ち上げ期の活動の方向性と運営課題の整理

<2021年度のプロボノ活用事例> 5団体とプロボノワーカー20名で実施しました

	団体名	所在地	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
1	特定非営利活動法人 せっけんの街	柏市	リサイクルせっけんの普及活動、環境学習、雨水タンクの普及活動などを通して手賀沼、印旛沼の水質汚染に寄与する活動	SNS活用支援	SNS初心者の団体メンバーを対象としたSNS活用のためのワークショップ開催と資料作成
2	特定非営利活動法人 はあもにい	千葉市	地域における発達及び知的障害者の特性や適性に合わせた就労の場の提供や居場所作りを行うとともに「半径20キロ圏内からのノーマライゼーション社会の実現」へ向けた啓発活動	マーケティング支援	出店間もないフェアトレードカフェ&ショップでの来店者アンケートの実施・分析とマーケティング資料作成
3	認定NPO法人 ほっとすペース・つき	佐倉市	地域の居場所・集いの場づくりと訪問事業（「ホームスタート・さくら」や「ひきこもりサポーター」など）による地域力の向上に取り組む活動	ワークショップ開催支援	寄り添い型家庭訪問「ホームスタート」のボランティアメンバーを対象とした活動活性化のためのアンケート実施とワークショップ開催
4	船橋市援農クラブ	船橋市	船橋市農家へのボランティア援農作業、福祉事業を通じて、農と農地の維持・振興と次世代への継承に寄与する活動	ホームページ作成支援	Jimdoを使った団体ホームページの立ち上げと操作習得のためワークショップ実施
5	認定NPO法人 行徳自然ほごくらぶ	市川市	行徳鳥獣保護区・野鳥救護施設等の管理運営やイベント、調査の実施等を通じて、水鳥をはじめとする多くの野生生物が生息できる湿地環境の保全と復元のための活動	情報発信全般の支援	英語での発信を含めての団体やイベントの情報発信全般の再検討(ホームページの英訳や検索対策作業を含む)と提案資料の作成

「ちばプロボノチャレンジ2019～2021」 参加団体のプロボノ後についての アンケート回答まとめ

プロボノ事業を3事業年度行ってきました。プロボノプロジェクトは約3ヶ月間で行う短期間の支援になりますが、団体の運営基盤の強化につながる支援内容になる行ってきました。実際に運営基盤の強化に役立っているのかを含め、プロジェクト終了1～3年後に、プロボノ参加団体はどのように感じているのかをアンケート調査しました。

なぜ参加団体へのアンケート？

参加団体が「プロボノ＝効果が高い」と感じることは、プロボノで好循環を起こすカギ

参加団体にとっては、もちろんのこと

プロボノワーカーにとっても、「役に立てたと実感できること」は達成感、充実感につながるひとつの大事な要素

<プロボノワーカーの参加動機や完了後アンケートでのキーワード>

- ・地域の役に立ちたい
- ・直接感謝され、役に立てて嬉しい など
- ・経験を活かしたい、自己実現

参加団体へのアンケート実施方法について

<対象>

3事業年度で参加した のべ20団体

<実施方法>

プロボノ後の成果物の活用状況やプロボノのその後の団体への影響について、聞き取りとアンケートフォームの回答で調査する

<目的>

- ・プロジェクト期間終了後、団体の基盤強化につながっているかどうかを確認する
- ・今後の実施方法についての感想、助言を求め、これからの事業実施に活かす

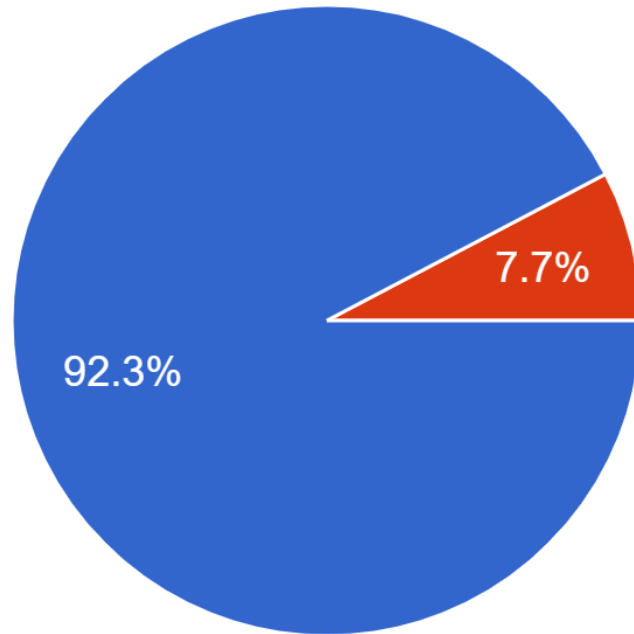
<回答状況>

13団体からのアンケート回答、3団体の聞き取りによる状況把握

2019～2021年度 ちばプロボノチャレンジに参加した団体へのプロボノ後に関するアンケート

アンケート結果について

プロボノプロジェクト終了後、成果物は活用されていますか？
または、何らかの役に立っていますか？



- 今も活用している、役に立っている
- プロジェクト終了後しばらくは活用していた、役に立っていた
- 終了してからは活用していない、役に立っていない

アンケート結果について

前問で役に立っている/立っていないとお答え頂いた状況について、具体的にお聞かせください。

<回答例>

- ・現状に合わせた法人のホームページの作成をお手伝いいただき、サイトは現在でも活用できている
- ・完成度の高いリーフレットを制作いただいたので、それを現在も使用している
- ・ワークショップに参加したメンバーがSNSに投稿を続けている
- ・パンフレットの活用。情報収集と分析の認識
- ・(SNS習得の)ワークショップに参加したメンバーがSNSに投稿を続けている など

実際に形やスキルとして残る広報物などの成果物は、1～3年後も活用されており、「役に立っている」実感が続いている

アンケート結果について

<回答例 つづき>

- ・プロジェクトの中でアンケートを作成。そのことが反省材料、またこれからの課題となっています
 - ・成果品にある課題が現在進行形なので、要点や方向性など確認等の振り返りに使っている
 - ・方向性をはっきりさせることができ、活動に対するモチベーションは上がり続けています。お客様、プロボノワーカーの皆様からの第3者視点での評価や提案は、想像以上に内部に大きな影響を与えていただきました
- など

多くの団体メンバーの参加や周知ができた参加団体は、終了後も課題意識が団体メンバー間で続いていて、プロボノをきっかけとした団体メンバーの意識レベルでの影響を感じている

アンケート結果について

プロボノプロジェクトが終了してから、振り返ってみて団体内部に何か変化を感じていましたか？該当するものがあれば選んでください（複数回答可）

<多かった回答の選択肢 >

- ・情報発信の重要性が認識され、情報発信の仕方や頻度が変化した（7団体）
- ・プロボノで共有した運営上の課題や活動内容の改善に取り組んだ（5団体）
- ・代表者やメンバーの活動のモチベーションが向上し、活動が活性化した（5団体）

外部からの見え方への意識、改善に取り組むきっかけ、モチベーションの向上
など実際の支援内容以外の意識、精神面でのプラスの影響を感じている

アンケート結果について

プロボノをもっと効果的に活用するには、どんなことが必要だと思いますか？
事務局やプロボノワーカーに望むことがあれば、お聞かせください。

<回答例>

継続支援について

- ・終わるとホッとして力が抜けちゃうので、長期的なサポートでしょうか？
- ・事務局がかかわった形での継続的関与
 - 4団体は個別にワーカーさんの継続支援を受けていると回答
 - 3団体は必要時にお願いするつもりと回答
- ・日常からの交流機会、アクセス可能な窓口

必要な支援と支援できる内容とのすり合わせなど

- ・どのようなスキルをお持ちの方なのか、どの部分までご協力いただけるのか、参加者団体とよくすり合わせをおこなうことが大切だと思いました。
- ・実績の紹介がもっとあると、相談しやすいです。自分の団体に何が必要か解らない場合もあると思います。
- ・支援期間前、期間中のヒアリング →行っているが、足りないと感じている?? など

アンケート結果について

プロボノをもっと効果的に活用するために、参加団体側の準備で必要だと思うこと、気をつけたほうがいいと思うことがあれば、お聞かせください。

<回答例>

団体の説明について

- ・団体の活動内容や活動背景など、丁寧な団体紹介・概要があるほど、コラボは進むと思った。

取り組む課題の洗い出しや絞り込みについて

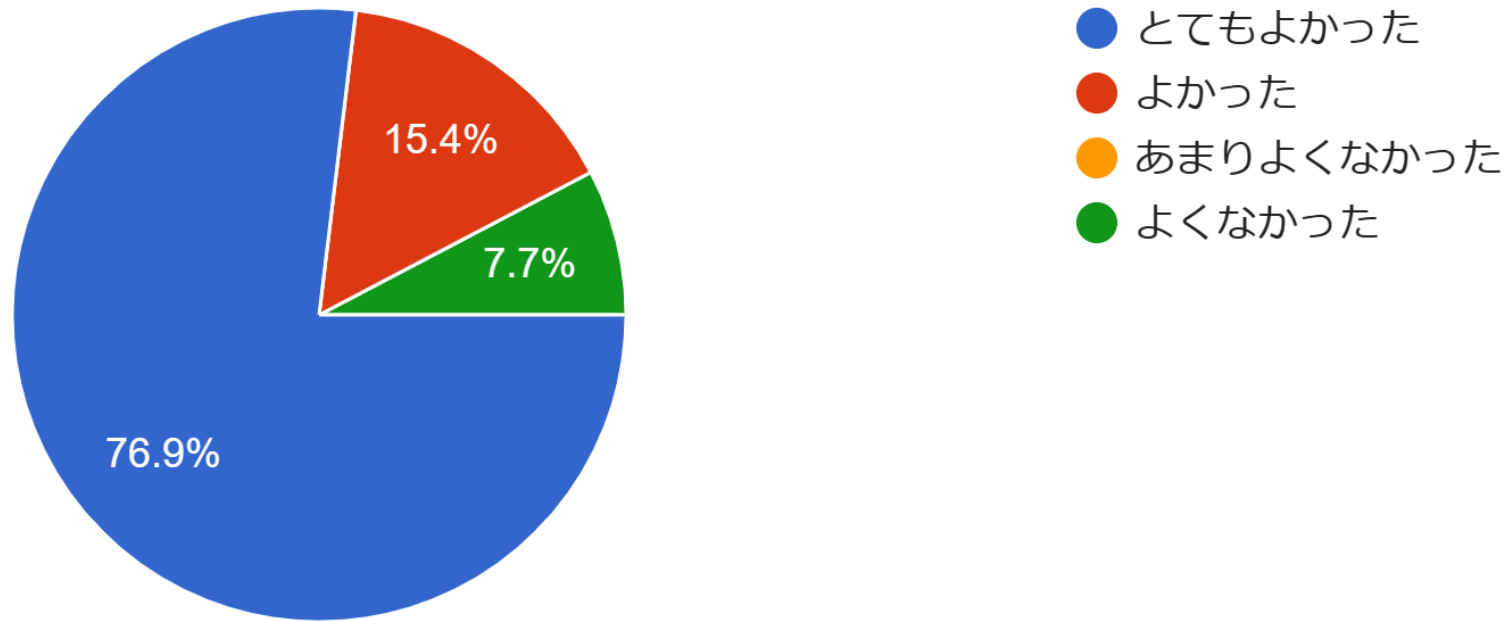
- ・目標や参加の焦点化。ただし参加によって明確になる面もありか?? (他3団体)
- ・自分たちの中でこれをやりたい、ここが改善すべきだという事がわからないまま、ただ漠然とした中で開始しました。事前に質問票などがあれば尚課題の洗い出しが進んだのではないかと思いました。

プロボノへの参加体制について

- ・団体側でPJメンバーを募る場合、人選と動機付けをしっかりとすること
- ・それなりに負担がかかるので、複数人で対応できる体制を作ったほうがよく、途中経過などこまめに理事や現場スタッフに発信したほうがみんなの意識が高まって良いです など

アンケート結果について

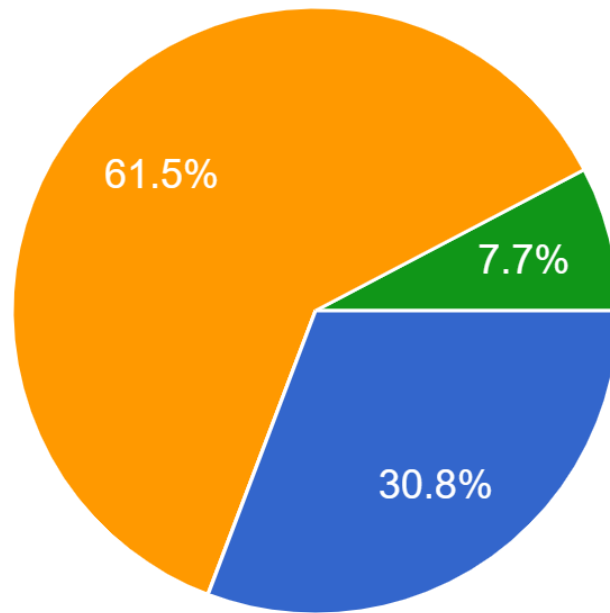
振り返ってみられて、プロボノプロジェクトに参加して、よかったですと思いますか？
13件の回答



アンケート結果について

今後、またプロボノで取り組みたい課題はありますか？

13件の回答



- ある
- ない
- 今は具体的にないが、必要時にプロボノはまた活用したい
- プロボノの必要性を実感しており、地域にプロボノ部を設置しました！ローカルな取り組みと県事業の隙間のないようにできると良いと思う。

アンケート結果について

その後の活動状況など近況とご意見、感想を聞かせてください

- ・ご相談する中で、あらためて活動について内容を整理することができました。現在、作成していた資料を使い、会員勧誘時の説明をおこなっています。
- ・終了後しばらくは残っていた宿題を進めていましたが、時が経つにつれて目先の業務に追われる日々になってしまいました。でも、確実に意識は変わってきていて、スタッフ間でも問題の解決に向けて意見交換などが突然始まったり、前回の続きと言いながら再開されるといった、いつでも進行形の状況になっています。
- ・これまで外部から活動に関する評価や意見、提案をいただける機会は多くなかったので、大変貴重な機会でありがたかったです。
- ・(プロボノ後に新たな活動を始めました。)ぜひ、また遊びにきてください。 など

参加団体へのプロボノ後アンケート から見えてきたこと

プロボノは参加団体にとってプロボノ後も 一定の効果が継続していた！

(回答には、支援を受けた感謝から という忖度は一定はあるだろうが…)

- ・作成した広報物、提供した広報スキルは現在も活用
 - 情報発信の内容、頻度UPにつながっている
- ・「団体メンバー間の課題共有→課題意識の持続」のきっかけに
- ・外部からの見え方への意識、改善に取り組むきっかけ、モチベーションの向上など実際の支援内容以外の意識、精神面でのプラスの影響を感じている団体も

参加団体へのプロボノ後アンケート から見えてきたこと

<プロボノ実施時のこれからの課題として>

- 取り組む課題の洗い出し、絞り込みをしっかりと
→ 団体側も複数人での対応、団体全体での情報共有をして、団体側の参加意識UPを
- 支援内容のすりあわせ
団体が必要としている支援とワーカーさん側で支援可能な内容とのすりあわせが大切
- 継続支援
個別の継続支援のほか、長期的な支援、日常からの交流の機会や相談窓口を望む声も

今後について考える

“ちばのプロボノを
よりよく、より楽しく、もっと届けるために”
アイデア出し、意見出しを
参加者のグループトークで行いました

今後について考える

プロボノワーカー、プロボノ参加団体、プロボノに関心のある自治体や個人、団体などそれぞれの立場からアイデア、意見をグループトークで出し合い、次の内容を全体共有しました。

＜グループトークで出た内容＞

プロボノをよりよく、より楽しく、もっと届けるための3つのポイント

① マッチングについて

- ・団体とワーカーどちら側も課題だと考えていることがわかった
- ・団体の課題や望んでいることの深掘りが必要
- ・団体との出会える場、学びの場を作るのもよいのでは
→団体の課題、ワーカーの得意分野を互いに知り合える機会を多くしては

今後について考える

プロボノをよりよく、より楽しく、もっと届けるための3つのポイント

②成果物の明確化、課題の洗い出しについて

- ・プロボノ参加の目的、目標、どこまで望むのかを明らかに
- ・「課題特定」だけを成果物にしても良いのでは
(成果物作成前に「課題特定」をやろうとすると時間が足りなくなるので)
- ・文章で読み取れる部分と背景や空気感や様子など Face to Face でないとわかりにくい部分もあるので、対面の場も大事にして
- ・支援団体側も統一の見解でない場合もあり、そのすり合わせも大切

今後について考える

プロボノをよりよく、より楽しく、もっと届けるための3つのポイント

③プロボノワーカー、団体の参加を広げることにについて

- ・互いに関わっていく機会が増やせるよう、ワーカー、団体も増えるような情報発信を
- ・参加のきっかけとなるようなプロボノワーカーの交流の場を持つ 次回はリアルで！
- ・企業にもプロボノについて伝え、複数の企業と連携していろいろな場で知らせてはどうか
- ・プロボノワーカーは自分の専門性を活かしたいと思うより、仕事とはまったく別なジャンルで役に立ち、生きがいを得たいと思っている人もいるのでは→広報の際、考慮を
- ・「プロボノ」の認知はまだまだ 認知を広げるアイデアが必要

今後の予定について

- プロボノワーカー経験者の交流会の実施 次はリアルで！

今回アイデア、意見はたくさん出たので、さらに具体的に新年度の実施方法を検討してみる

- 事務局の新年度からの新しい動きなど、交流会時には新しい情報もお伝えする予定です